

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students

プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 中田万恋
所属 (School) 地域保健学域 看護学類
学年 (Grade) 2

留学先 (Name of overseas institution)
ビクトリア大学夏季オンライン語学研修

留学期間 (study abroad period)
2020/8/26~2020/9/26



留学レポート Study Abroad Report

今回、ビクトリア大学夏季オンライン語学研修に参加しました。研修が始まる前にクラス分けテストを受け、自分にあった難易度の授業を受けました。私のクラスは、日本人が9人、サウジアラビア人1人、コロンビア人2人、台湾人1人、韓国人1人で、想像以上に日本人が多いクラスでした。授業は同期授業と非同期授業が組み合わさっていました。非同期授業は、週4回あり、動画を通して主に文法を学んだり、課題を通してリスニングやリーディング、ライティング能力を高めたりしました。週末にはプレゼンを動画に収め提出する課題が課されました。同期授業は、zoomを用いて週3回約1時間行われました。内容としては、非同期授業で学んだことを踏まえ、それらのアウトプットと各週のトピックに関するディスカッションを3人グループに別れて行いました。



参加を決めるまでは「一体オンライン授業とは何なのか」、「本当に英語力は向上するのか」疑問を抱いていました。なぜなら従来の留学とは異なり、留学期間中ずっと英語で会話をしたり、留学の醍醐味であるホームステイを通してその地の文化や食を体験したりすることができないからです。しかし、このプログラムでは、リスニング、リーディング、スピーキングだけでなく、ライティングにも焦点を当てて深く学ぶことができました。これは、オンライン留学ならではの考えです。以前実際に留学した際、ライティングに関する授業は全くありませんでした。外国人と共に働く場面が確実に増加している中で、ビジネスにおけるライティング能力はリスニング、スピーキング能力と同様に非常に重要であると考えます。また、課題について毎回先生から音声付きで個別にフィードバックがありました。フィードバックをもとに、発音の修正をしたり、自分の英語の話し方、イントネーションは異国に通用することを実感でき自信につながりました。従来の留学は、主にディスカッションや文法を重視していることが多く、個別に細かな発音を訂正してくださったり、フィードバックをしてくださる機会はありません。この点でオンライン留学の良さを実感しました。

現在、私は、看護を専攻しています。現代、グローバル化が急速に進行し、日本で働く外国人労働者も増加傾向にあることに伴い、外国人が病院を利用する機会も増加してきています。日本語をうまく話すことができなくても、安心して日本の医療を受けることができるような社会になるためには、もっともっと、個々人が英語における文法だけでなく、リスニング力、スピーキング力、ライティング力を高める必要があると考えます。今後の社会に適応していくためにも、学生のうちに、英語に触れる機会を増やし、様々なことを経験していきたいと感じました。